ドーム型サーマルカメラ
DS-2TD1217B-6/PA
DS-2TD1217B-3/PA

スターターマニュアル

WORLD SUPPLY

第1版

01 目次

02 機器構成 ー ー ー ー ー ー ー ー ー 2

03 （オプション）三脚マウント取付 ー ー ー 3

04 ネットワーク設定 ー ー ー ー ー ー ー 5

05 サーマルカメラの接続 ー ー ー ー ー ー 8

06 最新ファームウェアへ更新 ー ー ー ー ー 10

07 体温関連の詳細設定 ー ー ー ー ー ー 12

08 音声アラームの日本語設定 ー ー ー ー ー 13

09 カラーパレット設定 ー ー ー ー ー ー 14

10 フォントサイズ設定 ー ー ー ー ー ー 15

11 マスク着用アラームの設定 ー ー ー ー ー 16

12 タイムゾーンの設定 ー ー ー ー ー ー 17

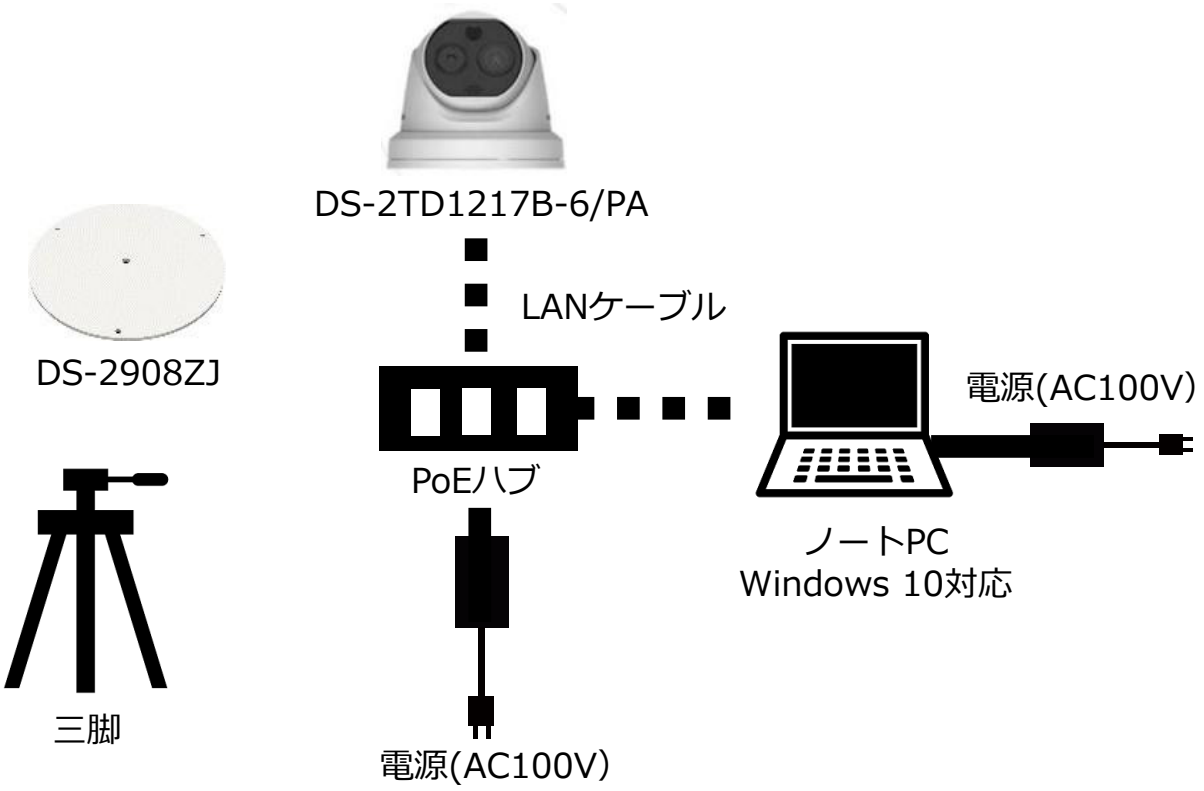
⚠ 使用上の注意

本サーマルカメラシステムは、風の影響を受けない屋内にて設置・運用すること。
カメラの特性として、電源投入直後は体温の測定値が不安定になっているため、最低でも5～10分は待ってから使用すること。（メーカーの推奨値は90分ではあるが、5～10分程度で概ね安定する傾向がみられている。）
可能であれば、カメラの電源は入れっぱなしにしておくのが好ましい。
顔の額部分の体表温度から体温を高精度に推定するシステムのため、被測定者は帽子・バンダナ・前髪等で額を隠さないようにすること。

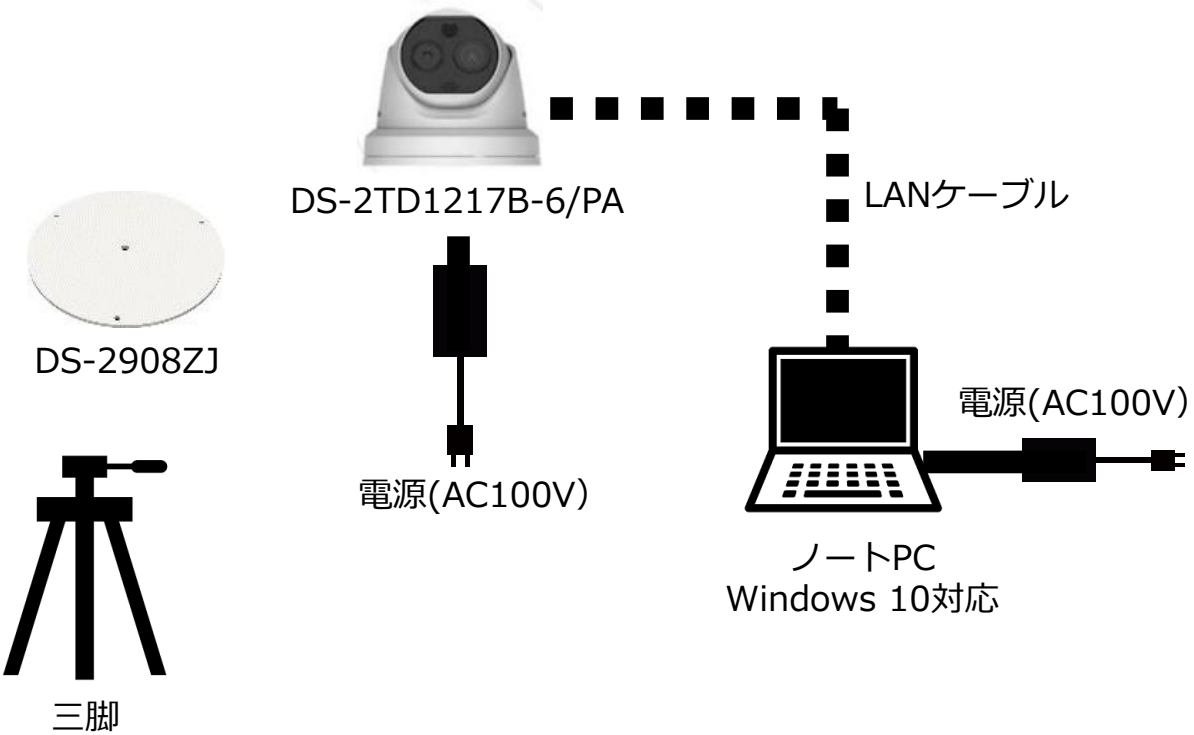
02 機器構成

構成図

1



2

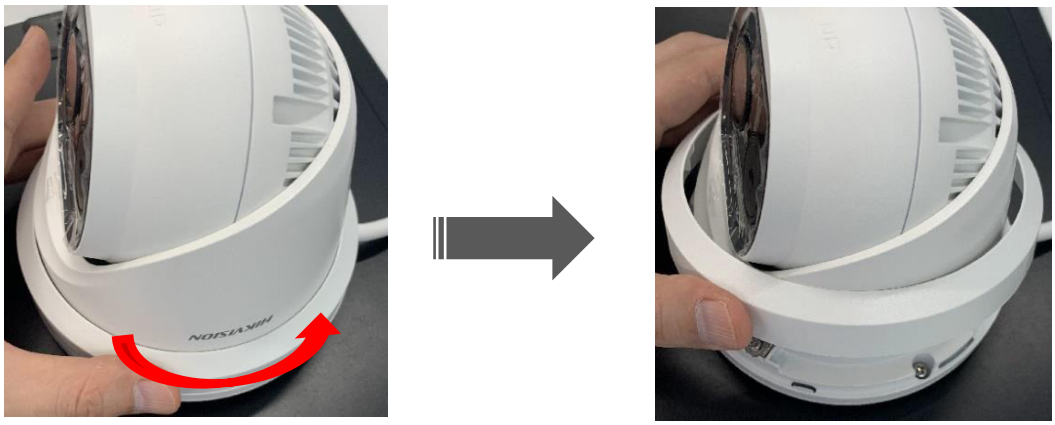


03 三脚マウント取付（オプション）

三脚を使用する場合

手順

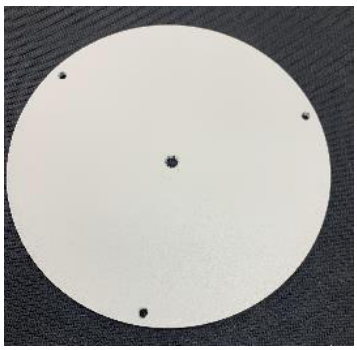
1 カメラの下部分のプラスチックカバーを反時計回りに回して外す。



2 付属の専用ドライバーでトルクスねじを緩めてカメラの向き・角度を調整する。
角度調整後はトルクスねじを締めて、ベース金具を再度固定する。

※金具を手前にスライド

3 カメラにプラスドライバーで三脚マウント（DS-2908ZJ）を取り付ける。



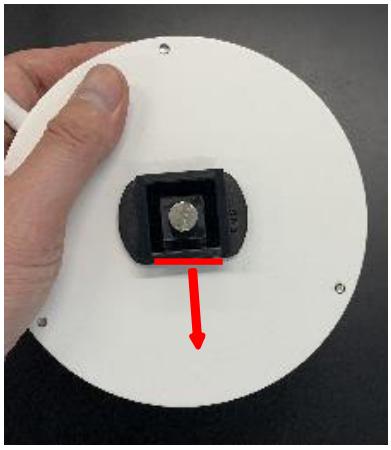
DS-2908ZJ

※3箇所ネジ留めする

03 三脚マウント取付（オプション）

4 プラスチックカバーを時計回りに回して取り付ける。

5 三脚のマウント部を取り付ける。三脚マウントの一辺がカメラの正面を向くようにネジを締める。

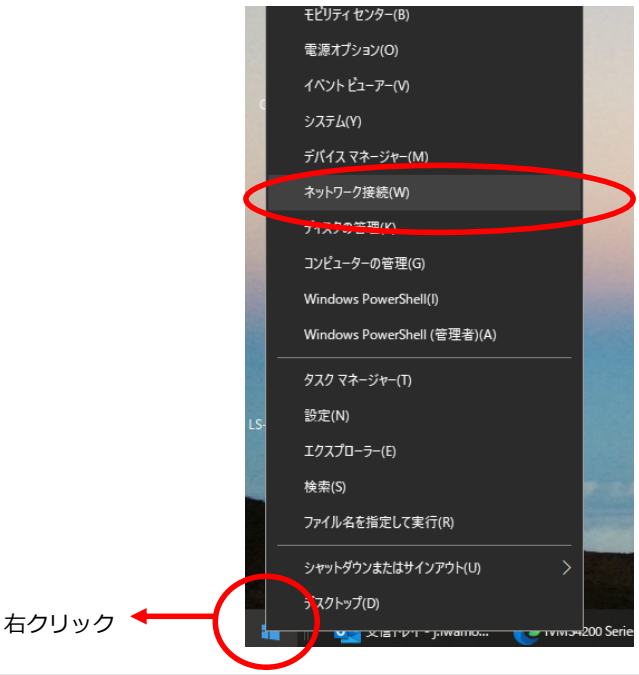


6 三脚に取り付けて完成。

04 ネットワーク設定

手順

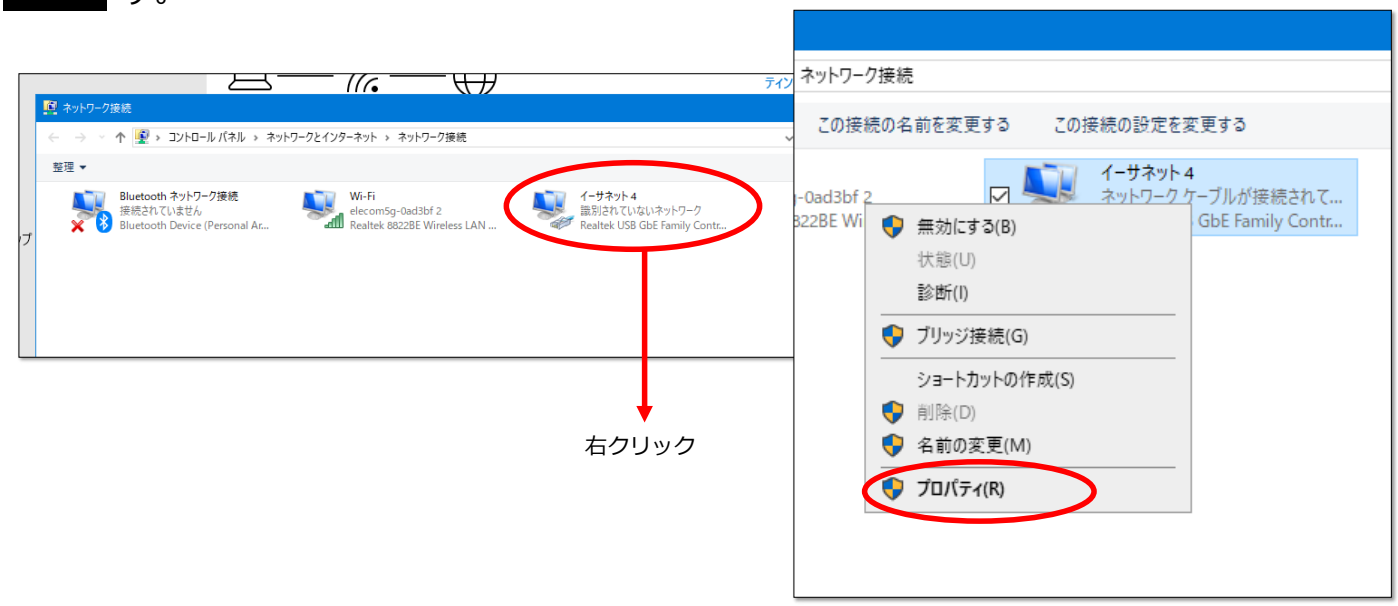
1 サーマルカメラとPCをLANケーブルで接続する。
PCのWindowsのスタートボタンを右クリックし、「ネットワーク接続」を選択する。



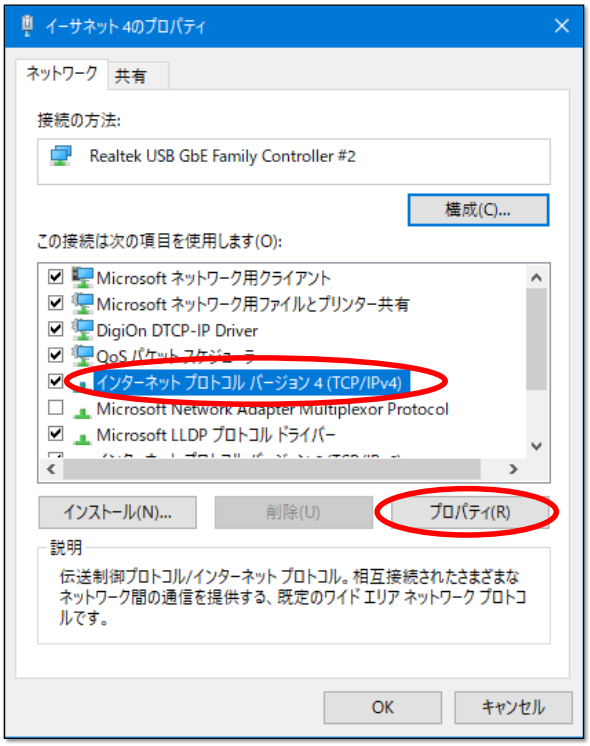
2 状態画面で「アダプターのオプションを変更する」を選択する。

04 ネットワーク設定

3 ネットワーク接続画面で「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を押す。



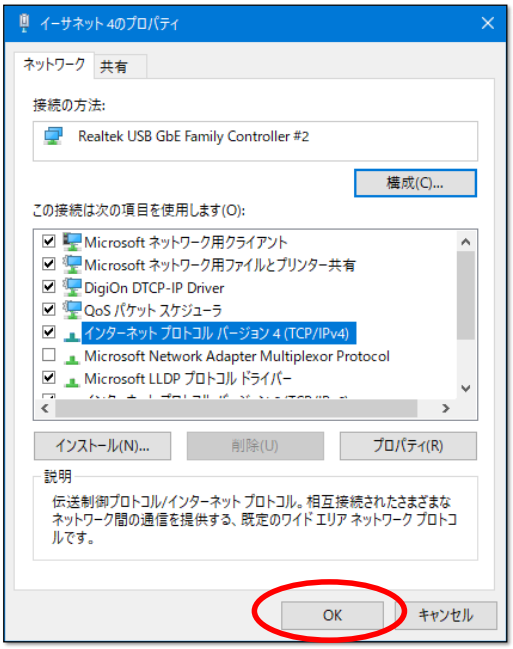
4 イーサネットのプロパティ画面で「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4）」を選択し、「プロパティ」を押す。
インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4）のプロパティ画面で、下記の通りにIPアドレスとサブネットマスクを設定し、「OK」を押す。



IP アドレス： 192.168.1.10
サブネットマスク： 255.255.255.0

04 ネットワーク設定

5 イーサネットのプロパティ画面で「OK」を押し、パラメータの設定は完了。

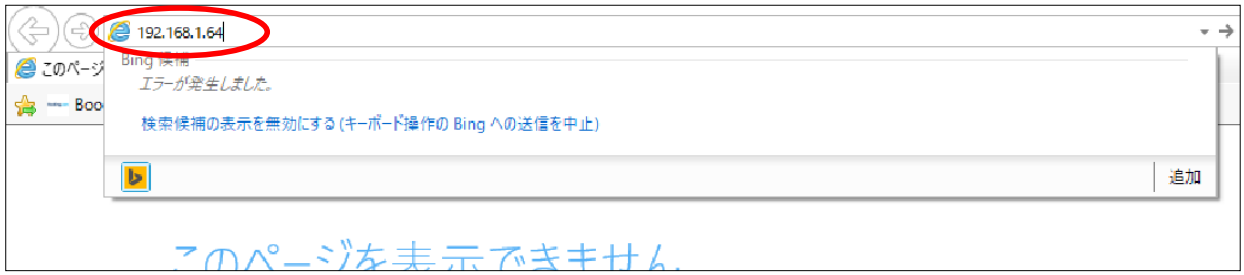


05 サーマルカメラの接続

Internet Explorerでサーマルカメラに接続します。
Internet Explorerはバージョン9以上に対応しています。

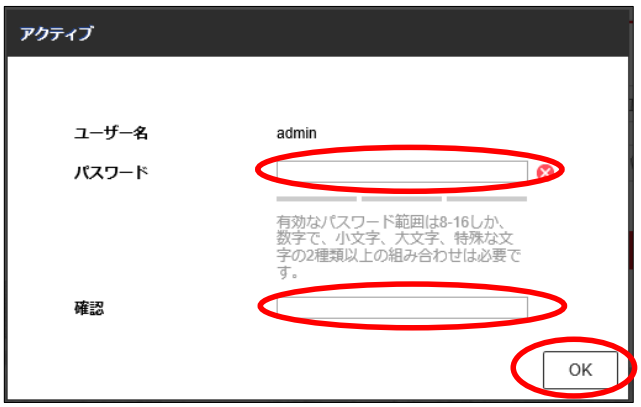
手順

1 Internet Explorerを起動し、アドレスバーに「192.168.1.64」を入力し、Enterキーを押す。GoogleCromeやEdgeでは対応していません。



ドームカメラのIPアドレスは「192.168.1.64」です。

2 初めての接続の際は、カメラをアクティブ化するため、ユーザー名とパスワードの設定が求められる。
ユーザー名： admin
パスワード： 任意
を設定する。



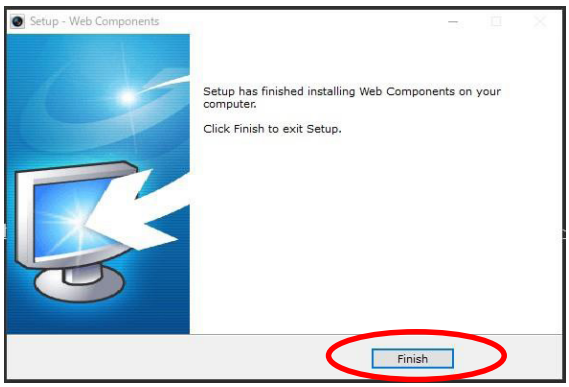
ユーザー名やパスワードは
忘れないようにしてください。

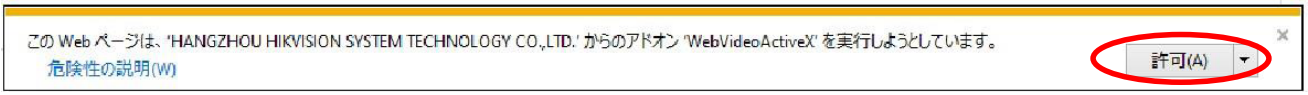
3 ライブビュー画面が表示される。
プラグインのインストールを求められるのでクリックして、実行を押す。

この部分をクリック

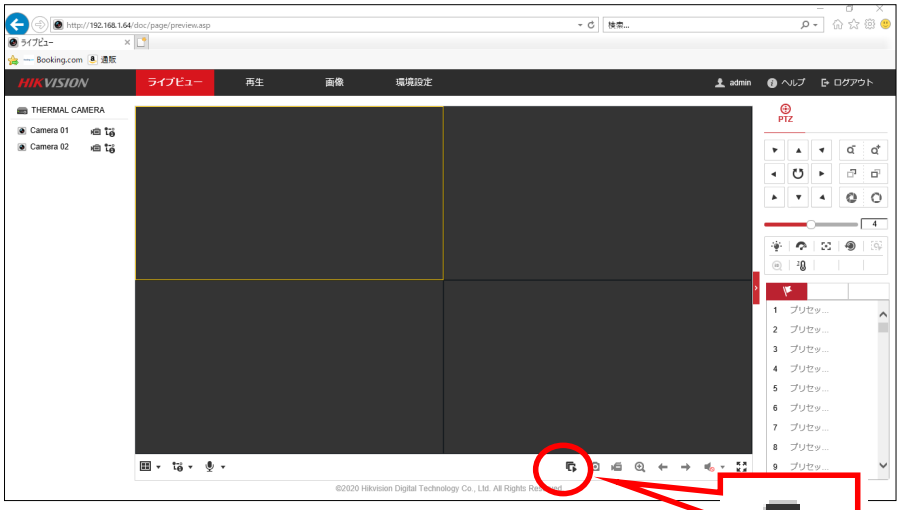
05 サーマルカメラの接続

4 「Finish」をクリックして、最後に許可を押し、プラグインをインストールする。





5 プラグインのインストール後、以下の画面が表示される。
「全てのライブ開始」アイコンをクリックして、リアルタイム動画を確認する。



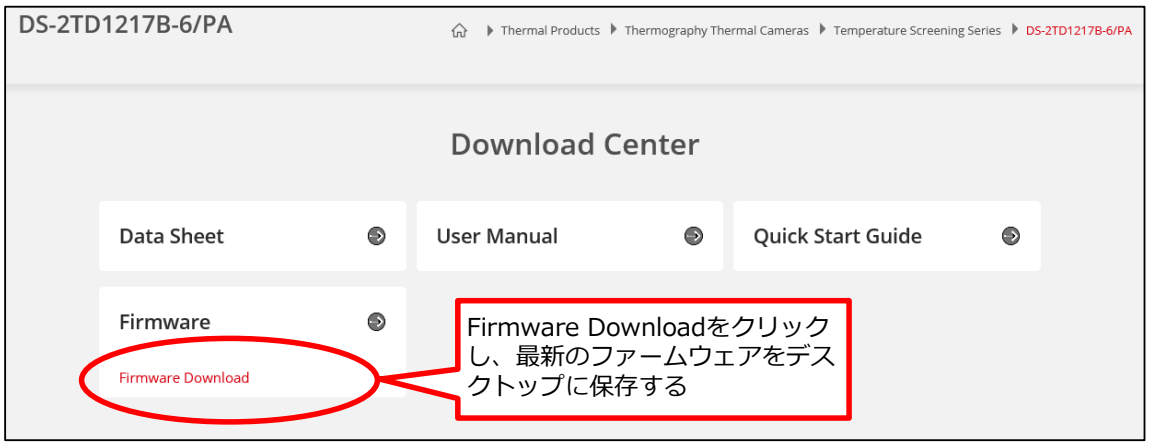
「全てのライブ開始」アイコン

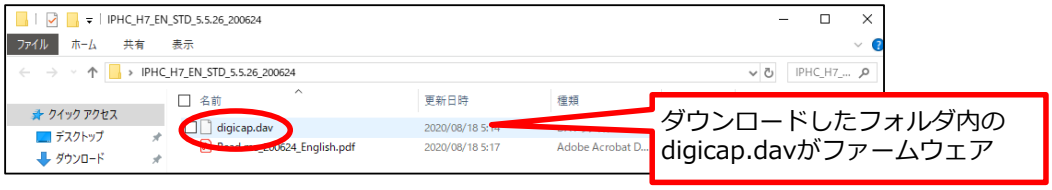
Internet Explorerで「192.168.1.64」のログイン画面をお気に入りバーに登録しておくと便利です。

06 最新ファームウェアへ更新

手順

1 以下のURL から最新のファームウェアをPC にインストールする。
https://www.hikvision.com/en/products/Thermal-Products/Thermography-thermal-cameras/temperature-screening-series/ds-2td1217b-6-pa/

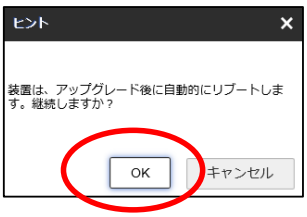




2 「環境設定」-「メンテナンス」-「アップグレードとメンテナンス」のアップグレードでブラウザボタンを押し、ダウンロードしたファームウェア（digicap.dav）を選択後、枠内にファイルのリンク先が表示されていることを確認し、アップグレードを押す。

06 最新ファームウェアへ更新

3 下図が出てくるので、「OK」を押す。
ファームウェアの更新が始まり、更新後は自動的に再起動する。



07 体温関連の詳細設定

1 「環境設定」- 「体温」- 「基本設定」- 「体温設定」画面で各種設定をする。

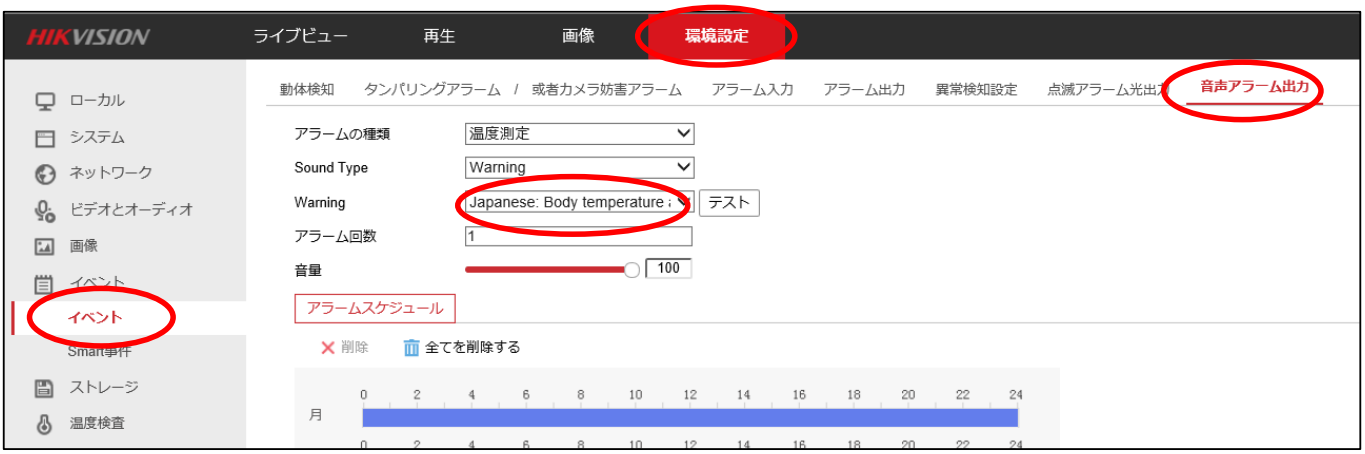
最大瞳孔間距離…最も大きく認識させる顔の大きさを設定します。
近すぎる距離での測定をしないように設定できます。
最小瞳孔間距離…最も小さく認識させる顔の大きさを設定します。
遠すぎる距離での測定をしないように設定できます。
アラーム閾値…この閾値以上の体温を検出すると、
① ライブビュー画面で、顔の枠および体温表示が赤色になる
② 白色LEDの点滅をさせることができる。
③ 音声アラームを行うことができる。
プリアラーム閾値…使用しない

「保存」を押しても正常に変更が保存されないことがあります。
これは上図の黄色の枠が赤色枠からはみ出している時に発生します。
「エリアを描く」をクリックし、黄色枠を赤色枠内におさまるように調整してから再度「保存」を押してください。

08 音声アラームの日本語設定

手順

1 「環境設定」- 「イベント」- 「音声アラーム出力」画面でWarningを Japanese Body temperatureに変更する。



09 カラーパレット設定

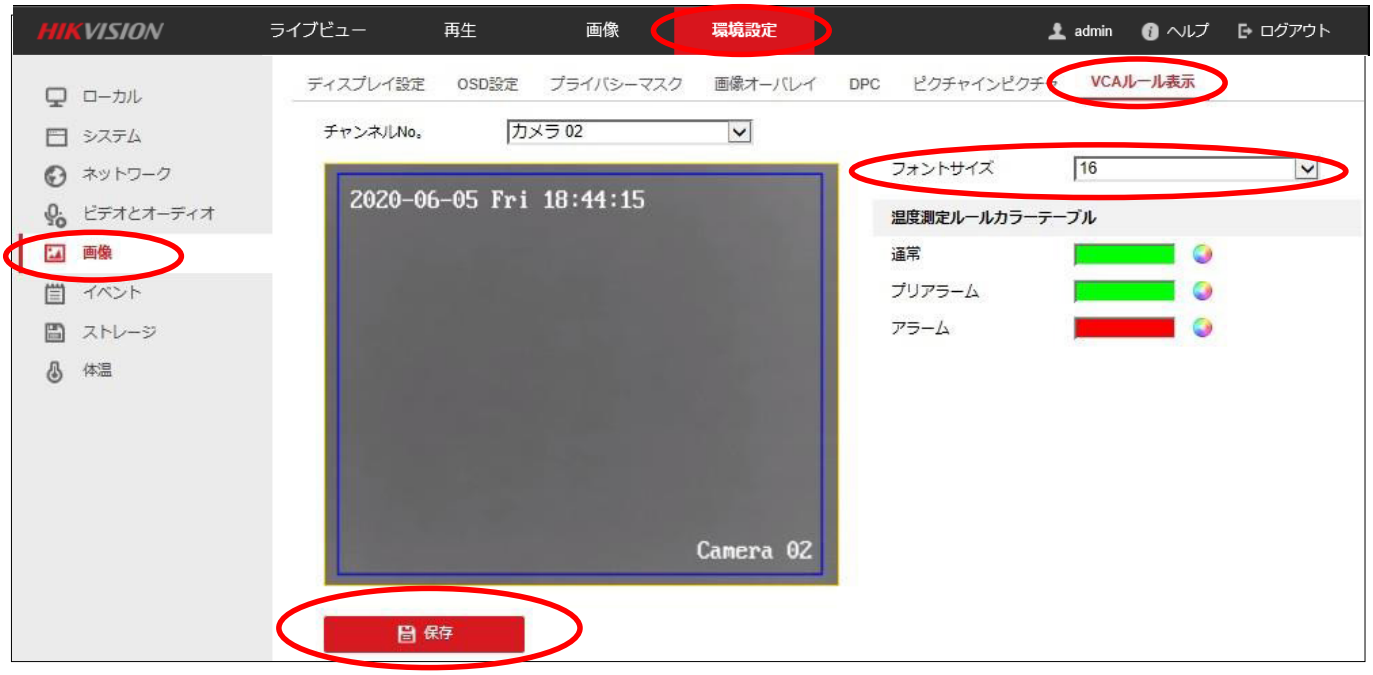
手順

1 「環境設定」- 「画像」- 「ディスプレイ設定」画面のチャンネルNo.で「カメラ02」を選択し、サーマルカメラの配色を白黒やレインボーなど任意の色に変更する。

10 フォントサイズ設定

手順

1 「環境設定」-「画像」-「VCAルール表示」画面で、ライブビュー画面上に表示される体温のフォントサイズを設定する。



11 マスク着用アラームの設定

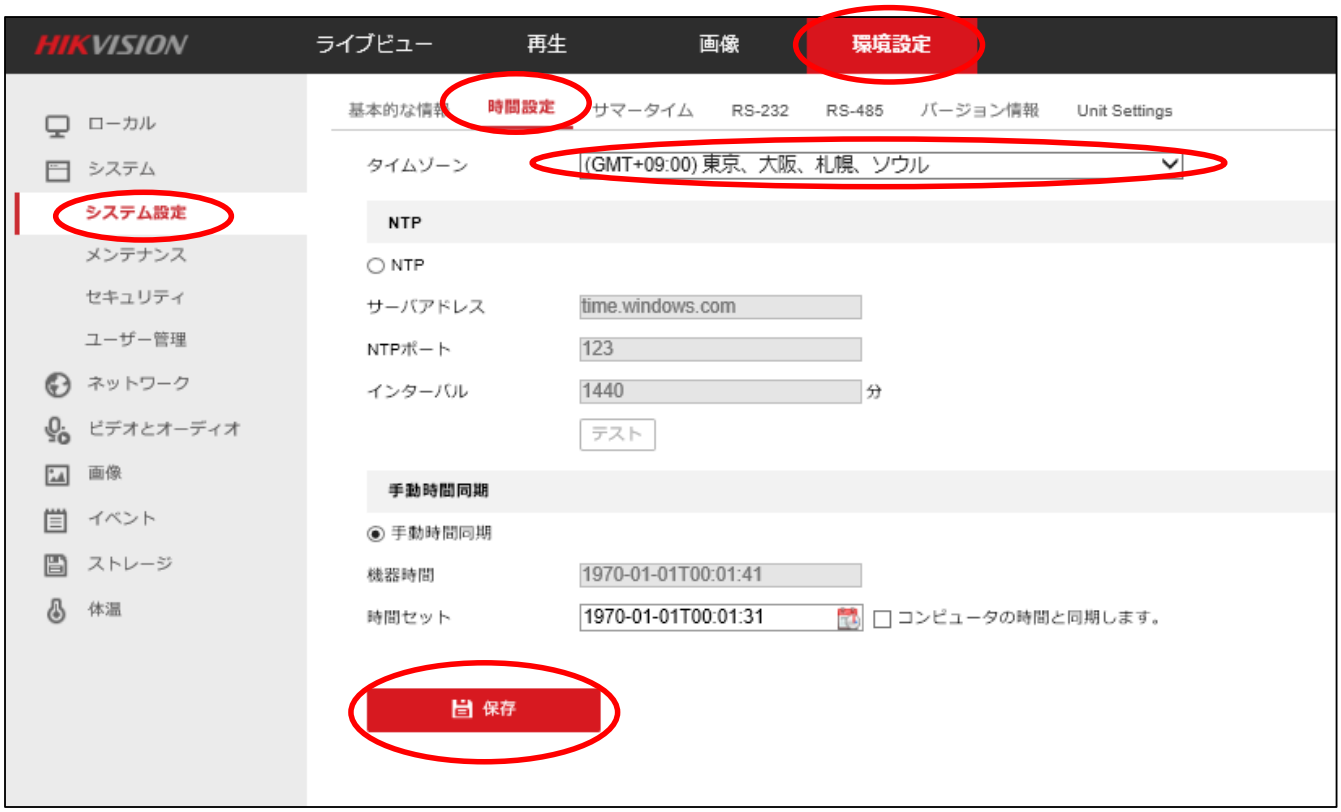
手順

1 「環境設定」- 「体温」- 「顔キャプチャ」- 「高度な設定」画面で「ノーマルリンケージ」にチェックする。

12 タイムゾーンの設定

手順

1 「環境設定」-「システム」-「システム設定」-「時間設定」画面で「タイムゾーン」を「東京、大阪、札幌、ソウル」に変更し、「保存」ボタンを押す。



タイムゾーンはデフォルトは北京になっています。